

添付資料4. 患者情報基本シート

病歴番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

研究番号： \_\_\_\_\_ キリトリ線

研究番号： \_\_\_\_\_

患者基礎情報

(入院時に記入)

入院時年齢  歳 性別

診断名 (がん)：

総合 (f) 病期：

婚姻状態 (ひとつに○)：  既婚・未婚・死別・離婚

キーパーソンの同居 (ひとつに○)  同居・別居・キーパーソン不明

最終教育歴 (ひとつに○)：  中学校卒・高校卒・短大/専門学校卒・大学卒・大学院卒

入院時点までに受けたことのある治療 (○をつける)：

内視鏡治療：  有り・無し

手術：  有り・無し

→ 術式：  手術年：

化学療法：  有り・無し

放射線療法：  有り・無し

→ 部位：

入院時 PS (ひとつに○)：  0・1・2・3・4

(退院時に記入)

入院日数：  日

退院時までに転移がある場合転移箇所 (当てはまるもの全てに○)

肺・肝・脳・遠隔リンパ節・腹膜・骨・皮膚・腹膜・他の腹腔内・無し

腹水：  有り・無し

胸水：  有り・無し

癌性リンパ管症：  有り・無し

入院中にうけた、癌に対する治療 (期間も含む)

内視鏡治療：  有り・無し

化学療法：  有り・無し

手術：  有り・無し

放射線療法：  有り・無し

退院時 PS (ひとつに○)：  0・1・2・3・4

病棟 \_\_\_\_\_ 患者ID: \_\_\_\_\_ 患者氏名: \_\_\_\_\_

入院日数	1 回目(入院日)( )	2 回目(8 日目)( )	3 回目(15 日目)( )
日付	/	/	/
記録者			
日勤朝のラウンド時の聞き取りデータを記録してください。「すべて昨日の今頃から今までに」の範囲が対象です。			
昨日の今頃から今までに痛みがありましたか	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
昨日の今頃から今までに鎮痛薬を使用しましたか	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
昨日の今頃から今までの痛みは十分とれていましたか	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
安静時NRS 一番強いとき _____ (一番痛い場所の番号 ) 一番弱いとき _____ 平均の強さ _____	_____ (一番痛い場所の番号 ) _____ _____	_____ (一番痛い場所の番号 ) _____ _____	_____ (一番痛い場所の番号 ) _____ _____
動作時NRS 一番強いとき _____ 一番弱いとき _____ 平均の強さ _____	_____ _____ _____	_____ _____ _____	_____ _____ _____
代替評価 動作時の最大VRS _____ (一番痛い場所の番号 ) 安静時の最小VRS _____	_____ (一番痛い場所の番号 ) _____	_____ (一番痛い場所の番号 ) _____	_____ (一番痛い場所の番号 ) _____
昨日の夜は眠れましたか	良眠 不十分 不眠	良眠 不十分 不眠	良眠 不十分 不眠
痛みの原因	がん がん治療 その他	がん がん治療 その他	がん がん治療 その他
NSAIDs アセトアミノフェン			
弱オピオイド			
強オピオイド			
鎮痛補助薬			
今回入院中の放射線治療	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
痛み関連のケア・処置 (具体的に) Ex: ケア: マッサージ、温療法など 処置: ブロック、腹水などのドレナージなど			

**痛みの評価の必要性について**

痛みは感じているご本人にしかわかりません。そのため、私たち看護師や医師、薬剤師にもわかるように、どこが痛いのか、どれくらい痛いのか、痛みが弱くなったのか強くなったのかなどを患者さんご本人にうかがいます。痛みの変化を確認することで、痛みの治療方法を決めたり、痛み止めなどのお薬の量を調節することができます。わからないことがあればいつでもご質問下さい。

**NRS の説明**

〇〇さんの感じている痛みを、私たちにもわかるように数字で教えてください。難しく考えないで、感じたままにお答えください。痛みがない状態を「0(ゼロ)」とします。そして想像できるこの世の中で最高の強さの痛みをイメージしてください。これ以上あり得ない強い痛み、というイメージです。目をつぶってイメージしてみてください(最近の痛みや、今まで経験した痛みなどにとらわれなくて、あくまでも想像できる最高の強さの痛みをイメージしてみてください)。

そのイメージした最高の痛みを「10」とします。どうですか？なんとなくイメージできましたか？(難しく考えないで、自分なりの想像で大丈夫です) それで、〇〇さんの今の痛みの強さを、今考えて頂いたゼロから 10 の間の数字で表すといくつだと感じますか？では、昨日の今頃までから今までの間で、一番強かった痛みはいくつだったと思いますか？

**NRS は練習することで患者さんがより安定した評価ができるようになります。ゼロから 10 までの説明が終わったところで、今の痛みの質問の前に少し練習してみるのも方法です。**  
たとえば・・・足の小指をテーブルや椅子にぶつけたときってけっこう痛いと思いますが、〇〇さんはそんなときの痛さを思い出すと、数字でいくつくらいだったと思いますか？

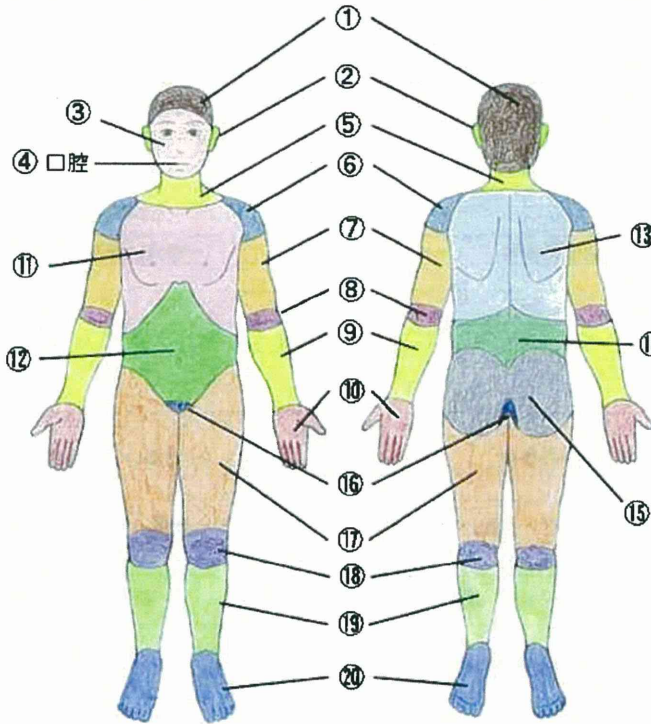
VRS は NRS が理解できない患者さんに限って使用します。基本は NRS です。

**VRS の説明**

数字では難しかったですね。それでは違うもう一つの方法を説明させていただきます。痛みがないときは「痛みがない」または「痛くない」と教えてください。痛みがあると感じるときは「痛い」あるいは「痛かった」と教えてください。その時、〇〇さんが感じた痛みの強さが「弱い痛み」なのか「中くらいの痛み」なのか「強い痛み」のかも教えてください。

**記録は、0:痛みなし、1:弱い痛み、2:中くらいの痛み、3:強い痛みとして数字で記録してください。**

**痛みの部位番号(左右はありません)**



NSAIDs	オピオイドと麻薬	鎮痛補助薬
インテバン坐剤	<b>弱オピオイド</b> コデイン	アナフラニール
インフリーS カプセル	トラマール	ガバペン錠
クリノリル	ベンタジン	キシロカイン静注用2%
セレコックス	ソセゴン	ギャバロン
ナイキサン	レバタン	サインバルタ
ハイベン	<b>強オピオイド</b> MS コンチン	セルシン
ブルフェン	アンバック坐剤	セロクラール
フロベン	オキシコンチン	ゾメタ注
ボルタレンサボ	オキノーム	ダイアップ坐剤
モービック	オキファースト	デカロン
ロキソニン	オプソ	テグレート
ロルカム	カティアン	デパケン
ロピオン注	ケタラール	テルネリン
アセトアミノフェン	デュロテップ MT パッチ	トフラニール
アンヒバ坐剤	バシーフ	トリプタノール
カロナール	ピーガード	トレドミン
	フェンタニル注	ノイロトロピン
	フェントステープ	パキシル
	ブレベノン注	ホリゾン
	モルヒネ	メキシチールカプセル
	モルベス	リオレサール
	ワンデュロパッチ	リフレックス
		リボトリール
		リリカカプセル
		リンデロン
		レメロン
		ロゼレム

麻薬の1日量の記入方法について “1日”とは、昨日の今頃から今までの間のことです。

**内服**

定時薬: 昨日の今頃から今までの間に使用した、定時の指示の麻薬の薬剤名と合計量

レスキュー: 昨日の今頃から、今までの間に痛みがあるときに使った、レスキュー指示の麻薬の薬剤名と合計量

**注射**

昨日の今頃から今までの間に使った麻薬注射剤の薬品名、希釈方法、投与速度、レスキュー1回量、レスキュー回数 (希釈方法の分母は生食の量、分子は薬剤の量)

例: モルヒネ注30mgを生食93mlに溶かしたものを、2ml/時間で持続静注し、疼痛時のレスキューは1回2mlを早送りの指示で、昨日の今頃から今までの間にレスキューを8回使用した場合。

記載は、モルヒネ注 30/93、速度 2ml/時間×24時間 レスキュー2ml×8回

途中で量が変わった場合の例: 8時間目に速度が3ml/時間、レスキューは1回3mlの場合、変更前にレスキューは3回、変更後にレスキュー4回使用した場合の記載は……

モルヒネ注 30/93、速度 2ml/時間×8時間、レスキュー2ml×3回、速度 3ml/時間×16時間、レスキュー3ml×4回

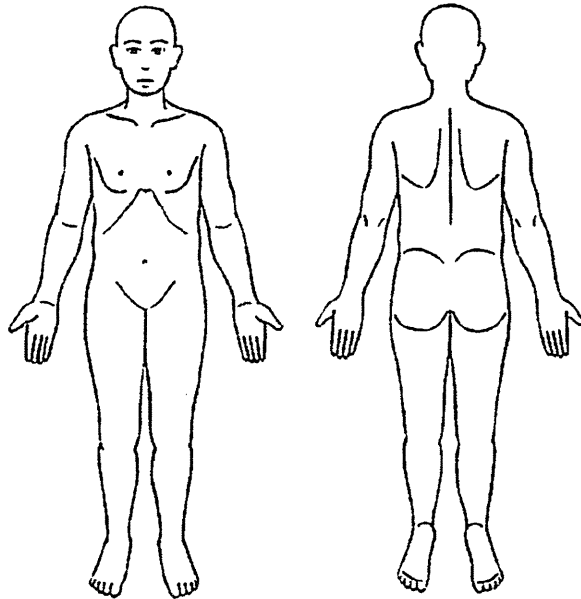
# 1

## 簡易疼痛調査用紙(縮小版)

調査年月日: 平成.....年.....月.....日

あなたの氏名: .....

- だれでも一生のうちには、軽い頭痛、ねんざ、歯痛などの痛みを経験することがありますが、今日、このような日常的な痛みとは違う痛みがありますか？ 1. はい 2. いいえ
- 下の身体図に、あなたの痛みの範囲を斜線で示し、最も痛むところに×をつけてください。



- この24時間以内にあなたが感じた最も強い痛みはどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んで下さい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- この24時間以内にあなたが感じた最も弱い痛みはどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- あなたが感じた痛みは平均するとどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- あなたが今感じている痛みはどの位ですか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

7) あなたは痛みを取るためにどのような治療や投薬を受けていますか？

8) この 24 時間に、その治療や投薬はどのくらい痛みを軽減させましたか？

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

少しも軽減しなかった

完全に和らいだ

9) この 24 時間のうちで、痛みがどれほどあなたの生活に支障となりましたか？

適当な数字を一つ○で囲んでください。

A. 日常生活の全般的活動

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

B. 気分・情緒

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

C. 歩行能力

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

D. 通常の仕事(家庭外および家庭内の仕事を含む)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

E. 対人関係

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

F. 睡眠

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

G. 生活を楽しむこと

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

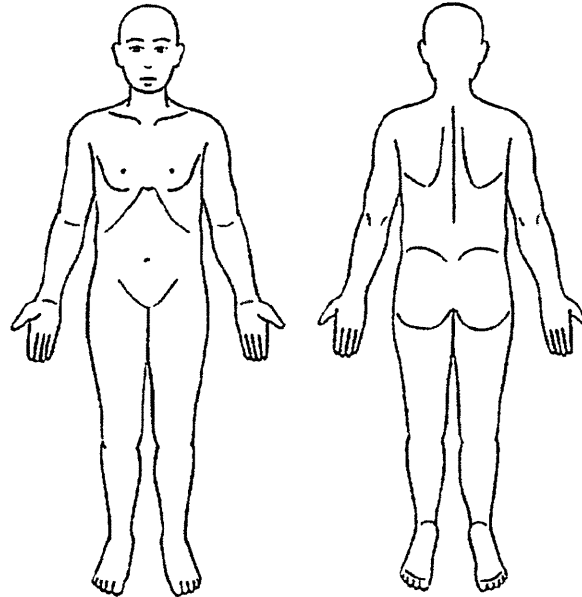
# 2

## 簡易疼痛調査用紙(縮小版)

調査年月日: 平成.....年.....月.....日

あなたの氏名: .....

- だれでも一生のうちには、軽い頭痛、ねんざ、歯痛などの痛みを経験することがありますが、今日、このような日常的な痛みとは違う痛みがありますか？ 1. はい 2. いいえ
- 下の身体図に、あなたの痛みの範囲を斜線で示し、最も痛むところに×をつけてください。



- この24時間以内にあなたが感じた最も強い痛みはどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んで下さい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- この24時間以内にあなたが感じた最も弱い痛みはどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- あなたが感じた痛みは平均するとどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- あなたが今感じている痛みはどの位ですか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

7) あなたは痛みを取るためにどのような治療や投薬を受けていますか？

8) この 24 時間に、その治療や投薬はどのくらい痛みを軽減させましたか？

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

少しも軽減しなかった

完全に和らいだ

9) この 24 時間のうちで、痛みがどれほどあなたの生活に支障となりましたか？

適当な数字を一つ○で囲んでください。

A. 日常生活の全般的活動

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

B. 気分・情緒

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

C. 歩行能力

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

D. 通常の仕事(家庭外および家庭内の仕事を含む)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

E. 対人関係

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

F. 睡眠

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

G. 生活を楽しむこと

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった



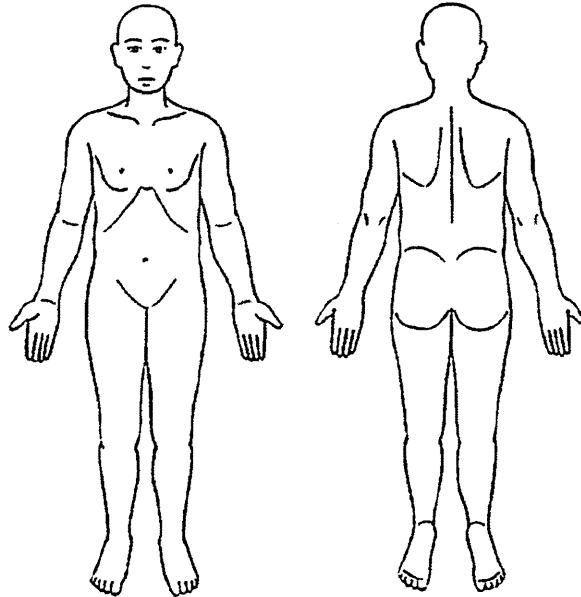
# 3

## 簡易疼痛調査用紙(縮小版)

調査年月日: 平成.....年.....月.....日

あなたの氏名: .....

- だれでも一生のうちには、軽い頭痛、ねんざ、歯痛などの痛みを経験することがありますが、今日、このような日常的な痛みとは違う痛みがありますか？ 1. はい 2. いいえ
- 下の身体図に、あなたの痛みの範囲を斜線で示し、最も痛むところに×をつけてください。



- この24時間以内にあなたが感じた最も強い痛みはどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んで下さい。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- この24時間以内にあなたが感じた最も弱い痛みはどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- あなたが感じた痛みは平均するとどの位でしたか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない

- あなたが今感じている痛みはどの位ですか？最も近い数字を○で囲んでください。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

痛くない

これ以上の痛みは考えられない



7) あなたは痛みを取るためにどのような治療や投薬を受けていますか？

8) この 24 時間に、その治療や投薬はどのくらい痛みを軽減させましたか？

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

少しも軽減しなかった

完全に和らいだ

9) この 24 時間のうちで、痛みがどれほどあなたの生活に支障となりましたか？

適当な数字を一つ○で囲んでください。

A. 日常生活の全般的活動

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

B. 気分・情緒

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

C. 歩行能力

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

D. 通常の仕事(家庭外および家庭内の仕事を含む)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

E. 対人関係

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

F. 睡眠

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

G. 生活を楽しむこと

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

支障なし

完全な支障となった

調査年月日：平成 年 月 日

あなたの氏名： .....

下記はあなたと同じ症状の方々が重要だと述べた項目です。過去7日間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

<u>身体症状について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
1	体に力が入らない感じがする。	0	1	2	3	4
2	吐き気がする。	0	1	2	3	4
3	体の具合のせいで 家族への負担となっている。	0	1	2	3	4
4	痛みがある。	0	1	2	3	4
5	治療による副作用に悩んでいる。	0	1	2	3	4
6	自分は病気だと感じる。	0	1	2	3	4
7	体の具合のせいで とこ 床(ベッド)で休まざるを得ない。	0	1	2	3	4

<u>社会的・家族との関係について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
8	友人たちを身近に感じる。	0	1	2	3	4
9	家族から精神的な助けがある。	0	1	2	3	4
10	友人からの助けがある。	0	1	2	3	4
11	家族は私の病気を 充分受け入れている。	0	1	2	3	4
12	私の病気についての家族間の 話し合いに満足している。	0	1	2	3	4
13	パートナー(または自分を一番 支えてくれる人)を親密に感じる。	0	1	2	3	4

過去7日間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

<u>精神的状態について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
14	悲しいと感じる。	0	1	2	3	4
15	病気に前向きに対応している 自分に満足している。	0	1	2	3	4
16	病気と闘うことに希望を 失いつつある。	0	1	2	3	4
17	神経質になっている。	0	1	2	3	4
18	死ぬことを心配している。	0	1	2	3	4
19	病気の悪化を心配している。	0	1	2	3	4

<u>活動状況について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
20	仕事(家のことも含む)を することができる	0	1	2	3	4
21	仕事(家のことも含む)は 生活の張りになる。	0	1	2	3	4
22	生活を楽しむことができる。	0	1	2	3	4
23	自分の病気を充分 受け入れている。	0	1	2	3	4
24	よく眠れる。	0	1	2	3	4
25	いつもの娯楽(余暇)を 楽しんでいる。	0	1	2	3	4
26	現在の生活の質に 満足している。	0	1	2	3	4

調査年月日：平成 年 月 日

あなたの氏名： .....

下記はあなたと同じ症状の方々が重要だと述べた項目です。過去7日間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

<u>身体症状について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
1	体に力が入らない感じがする。	0	1	2	3	4
2	吐き気がする。	0	1	2	3	4
3	体の具合のせいで 家族への負担となっている。	0	1	2	3	4
4	痛みがある。	0	1	2	3	4
5	治療による副作用に悩んでいる。	0	1	2	3	4
6	自分は病気だと感じる。	0	1	2	3	4
7	体の具合のせいで とこ 床(ベッド)で休まざるを得ない。	0	1	2	3	4

<u>社会的・家族との関係について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
8	友人たちを身近に感じる。	0	1	2	3	4
9	家族から精神的な助けがある。	0	1	2	3	4
10	友人からの助けがある。	0	1	2	3	4
11	家族は私の病気を 充分受け入れている。	0	1	2	3	4
12	私の病気についての家族間の 話し合いに満足している。	0	1	2	3	4
13	パートナー(または自分を一番 支えてくれる人)を親密に感じる。	0	1	2	3	4

# 2

過去7日間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

<u>精神的状態について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
14	悲しいと感じる。	0	1	2	3	4
15	病気に前向きに対応している 自分に満足している。	0	1	2	3	4
16	病気と闘うことに希望を 失いつつある。	0	1	2	3	4
17	神経質になっている。	0	1	2	3	4
18	死ぬことを心配している。	0	1	2	3	4
19	病気の悪化を心配している。	0	1	2	3	4

<u>活動状況について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
20	仕事(家のことも含む)を することができる	0	1	2	3	4
21	仕事(家のことも含む)は 生活の張りになる。	0	1	2	3	4
22	生活を楽しむことができる。	0	1	2	3	4
23	自分の病気を充分 受け入れている。	0	1	2	3	4
24	よく眠れる。	0	1	2	3	4
25	いつもの娯楽(余暇)を 楽しんでいる。	0	1	2	3	4
26	現在の生活の質に 満足している。	0	1	2	3	4

調査年月日：平成 年 月 日

あなたの氏名： .....

下記はあなたと同じ症状の方々が重要だと述べた項目です。過去7日間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

<u>身体症状について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
1	体に力が入らない感じがする。	0	1	2	3	4
2	吐き気がする。	0	1	2	3	4
3	体の具合のせいで 家族への負担となっている。	0	1	2	3	4
4	痛みがある。	0	1	2	3	4
5	治療による副作用に悩んでいる。	0	1	2	3	4
6	自分は病気だと感じる。	0	1	2	3	4
7	体の具合のせいで とこ 床(ベッド)で休まざるを得ない。	0	1	2	3	4

<u>社会的・家族との関係について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
8	友人たちを身近に感じる。	0	1	2	3	4
9	家族から精神的な助けがある。	0	1	2	3	4
10	友人からの助けがある。	0	1	2	3	4
11	家族は私の病気を 充分受け入れている。	0	1	2	3	4
12	私の病気についての家族間の 話し合いに満足している。	0	1	2	3	4
13	パートナー(または自分を一番 支えてくれる人)を親密に感じる。	0	1	2	3	4

過去7日間を対象に、自分の回答として最も適した番号を各項目につき一つ選び、○で囲んでください。

<u>精神的状態について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
14	悲しいと感じる。	0	1	2	3	4
15	病気に前向きに対応している 自分に満足している。	0	1	2	3	4
16	病気と闘うことに希望を 失いつつある。	0	1	2	3	4
17	神経質になっている。	0	1	2	3	4
18	死ぬことを心配している。	0	1	2	3	4
19	病気の悪化を心配している。	0	1	2	3	4

<u>活動状況について</u>		全く あてはまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常によく あてはまる
20	仕事(家のことも含む)を することができる	0	1	2	3	4
21	仕事(家のことも含む)は 生活の張りになる。	0	1	2	3	4
22	生活を楽しむことができる。	0	1	2	3	4
23	自分の病気を充分 受け入れている。	0	1	2	3	4
24	よく眠れる。	0	1	2	3	4
25	いつもの娯楽(余暇)を 楽しんでいる。	0	1	2	3	4
26	現在の生活の質に 満足している。	0	1	2	3	4



病棟 \_\_\_\_\_ 患者ID: \_\_\_\_\_ 患者氏名: \_\_\_\_\_

入院日数	1日目(入院日)	8日目	15日目
日付	/	/	/
記録者			
日勤朝のラウンド時の聞き取りデータを記録してください。「すべて昨日の今頃から今までに」の範囲が対象です。			
昨日の今頃から今までに痛みがありましたか	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
昨日の今頃から今までに鎮痛薬を使用しましたか	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
昨日の今頃から今までの痛みは十分とれていた	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
安静時NRS	最大 _____ (一番痛い場所の番号) 最小 _____ 平均 _____	最大 _____ (一番痛い場所の番号) 最小 _____ 平均 _____	最大 _____ (一番痛い場所の番号) 最小 _____ 平均 _____
動作時NRS	最大 _____ 最小 _____ 平均 _____	最大 _____ 最小 _____ 平均 _____	最大 _____ 最小 _____ 平均 _____
代替評価	動作時の最大VRS _____ (一番痛い場所の番号) 安静時の最小VRS _____	動作時の最大VRS _____ (一番痛い場所の番号) 安静時の最小VRS _____	動作時の最大VRS _____ (一番痛い場所の番号) 安静時の最小VRS _____
昨日の夜の睡眠は	良眠 不十分 不眠	良眠 不十分 不眠	良眠 不十分 不眠
痛みの原因	がん がん治療 その他	がん がん治療 その他	がん がん治療 その他
NSAIDs アセトアミノフェン			
弱オピオイド			
強オピオイド			
鎮痛補助薬			
今回入院中の放射線治療	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
痛み関連のケア・処置 (具体的に) Ex: ケア: マッサージ、温療法など 処置: ブロック、腹水などのドレナージなど			

## 添付資料 6. 患者インタビュー趣意書

痛みに関する調査に参加くださる方々へ

# インタビュー調査協力をお願い

### 【調査の概要】

当院で実施中の、痛みに関する調査にご協力をいただきありがとうございます。この調査は、全国の医療機関で痛みの治療がどれだけうまくいっているかを知る方法を確立するとともに、多くの方々が経験する痛みを中心とする不快な症状を取り除くことの意義を明らかにすることを目的としております。そのため、患者様に痛みがある状態、あるいはその痛みを除くことが、ご自身の療養生活にどのような影響をもたらすかについて、入院中に痛みを経験された皆様からお話をお伺いすることが必要です。そこで、本「痛みに関する調査」に参加下さり、入院後 1 週間以上経過された皆様に、このインタビュー調査にご協力いただくようお願いしております。

### 【対象となる方】

平成 23 年〇月〇日から〇月〇日までの間に当院で実施中の「痛みに関する調査」に参加下さり、入院後 1 週間以上経過された方。この研究協力をお願いと現在のあなたの病状とは関係がありません。

### 【調査の方法】

本調査を担当する研究員から、約 20 分程度で、痛みがある状態、あるいはその痛みを除くことが、ご自身の療養生活にどのような影響をもたらすかについて、インタビューを実施させていただきます。また、あなたの痛みの状況についても、診療録や痛み調査の結果等から情報収集させていただきます。

### 【プライバシーの保護】

この調査は、ご協力いただく方の不利益が無いよう慎重に検討し、当院の倫理委員会の承認を得て実施しております。研究に使用する痛みや病状に関する記録、インタビュー内容、診療情報は、氏名やカルテ番号を切り離し、研究だけに使用する番号を振った上で管理されます。結果は病院・病棟全体として集計するので、ご自身の情報が外部に漏れることはありません。また、あなたの情報が調査目的以外で使用されることはありません。

### 【調査辞退のご希望がありましたら】

ご協力いただけるかはあなたのご希望を尊重いたします。できる範囲でご協力いただければ幸いです。インタビューの質問項目によってはお答えいただくことがご負担に感じる場合は、その項目のご回答をいただかなくても結構です。また、途中でやめても結構ですし、調査協力をご辞退される場合には、担当看護師にお知らせください。その場合でも、今後の診療等で不利益になることは一切ありません。

### 【お問い合わせ先】

問い合わせ窓口： 青森県立中央病院院がん診療センター企画室

電話：017-726-8111

担当：齊藤 勝（内線 9117）、山下 慈（内線 9326）

## インタビュー調査協力をお願い

### 【調査の概要】

本調査は、日本全国の医療機関で痛みの治療がどれだけうまくいっているかを知る方法を確立することを目的としています。そのために、病棟において連日、患者の疼痛モニタリングを行うとともに、医療者の皆さんには、WHO 方式がん疼痛治療法の施設内普及啓発教育にも参加いただく計画です。このインタビュー調査では、本調査に参加いただく医師、看護師の方に、患者の訴える疼痛や除痛についてのお考えや臨床での実際の対応について伺い、疼痛モニタリングや WHO 方式がん疼痛治療法の施設内普及啓発の意義について明らかにすることを目的としています。

### 【対象となる方】

本調査の調査期間に 20 名以上の有痛患者の疼痛連続モニタを担当すると想定され、あわせて、WHO 方式がん疼痛治療法の施設内普及啓発教育を受講予定の医師、看護師。

### 【調査の方法】

本調査を担当する研究員と本院の緩和ケアチームのメンバーから、約 30 分程度で、患者の訴える疼痛や除痛についてのお考えや臨床での実際の対応について、インタビューを実施させていただきます。また、ご担当患者の入院中の痛みの状況についても、診療録や痛み調査の結果等から情報収集させていただきます。

### 【プライバシーの保護】

この調査は、ご協力いただく方の不利益が無いよう慎重に検討し、当院の倫理委員会の承認を得て実施しております。研究に使用する痛みや病状に関する記録、アンケート、診療情報は、氏名を切り離し、研究だけに使用する番号を振った上で管理されます。結果は病院・病棟全体として集計するので、ご自身の情報が外部に漏れることはありません。また、あなたの情報が調査目的以外で使用されることはありません。

### 【調査辞退のご希望がありましたら】

ご協力いただけるかはあなたのご希望を尊重いたします。インタビュー項目によってはお答えいただくことがご負担に感じる場合は、その項目のご回答をいただかなくても結構です。また、途中でやめても結構ですし、調査協力をご辞退される場合には、担当者にお知らせください。その場合でも、そのことで不利益になることは一切ありません。

### 【お問い合わせ先】

問い合わせ窓口：青森県立中央病院がん診療センター企画室

電話：017-726-8111

担当：齊藤 勝（内線 9117）、山下 慈（内線 9326）



## がん臨床研究事業が始まります！

『がん疼痛の除痛率を含めた緩和ケア提供体制の評価に関する研究』  
主任研究者／国立がん研究センター中央病院緩和医療科・精神腫瘍科科長 的場元弘  
分担研究者／青森県立中央病院院長 吉田 茂昭

### がん臨床研究事業 院内説明会のお知らせ

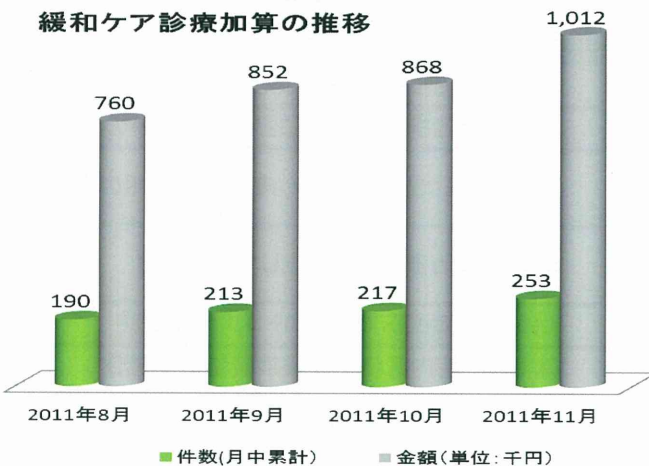
上記の研究事業について、院内説明会を開催いたします。関係各位の皆様のご参加をお待ちしております。  
日時：平成24年 1月 13日(金) 18:30～20:00  
場所：3階 研修室  
講師：主任研究者 的場元弘 先生  
研究協力者 吉本鉄介 先生  
(社会保険中央病院緩和ケアチーム)  
研究協力者 東 尚弘 先生  
(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野准教授)

当院はこのほど、「厚生労働科学研究(がん臨床研究)的場班」からの依頼を受け、全国で唯一、同班が実施する研究事業の協力施設となりました。

本研究は全てのがん患者を対象とするもので、がん疼痛治療などの緩和ケアが適切に提供されているかを判断する指標「除痛率」を確立することを目指し、またその妥当性の評価を行います。

研究事業は緩和ケアチームが主体となって進めて参りますが、全ての医師・看護師・薬剤師の協力なくして進めることは不可能です。がん診療連携拠点病院である当院に本研究が大きな意義をもたらすことをご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 緩和ケア診療加算の推移



### PCT介入の主な依頼内容 (2011年4月～12月)

- ①疼痛 50件(32.3%)
- ②こころの問題 39件(25.2%)
- ③在宅療養調整 20件(12.9%)
- ④リンパドレナージ 17件(11.0%)

12/28現在の介入件数 **155件**(前年同月比 **89.02%増**)

### 緩和ケアチームによる啓蒙活動の取り組み

早期介入を目指した疼痛初期アセスメントシート  
導入前後のPCT活動評価  
\*アンケート調査結果のご報告\*

アンケート調査の結果、PCTへ期待することとして「患者に対する精神的ケア」「症状緩和の評価と支援」の項目が8割を超えていました。ほか「オピオイド情報提供・服薬指導」「家族ケアのサポート」「在宅療養への支援」の項目がそれぞれ6割を超えており、この結果を参考として皆様のご期待にお応えできるよう活動していきたいと考えております。また、疼痛初期アセスメントシートについては8割の方が「良いと思う」と回答しており、2011年PCT介入150例(12/21現在)のうち57例(53%)は、アセスメントシートの提出により事前に介入を提案した症例でした。

この結果については来年度日本緩和医療学会で報告したいと考えております。また、アンケートでは皆様から大変貴重なご意見を数多く頂きました。今後の活動に活かして参りたいと思います。ご協力ありがとうございました。

### 看護部リンクナース連絡会との合同研修会 「第7回 緩和ケア勉強会」のお知らせ

日時／平成24年1月18日(水曜日) 16:45～18:00  
場所／3階 研修室  
対象／全職員  
講師／日本医療リンパドレナージセラピスト  
総括主幹看護師 越後 雅子  
主任看護師 高坂 晶子  
テーマ／リンパ浮腫セルフケア指導について

### 「緩和ケア特別勉強会」のお知らせ

\*\*\*\*\*  
下記の日程で、緩和ケア特別勉強会を開催いたします。林本先生の最終講義となります。多数の皆様のご参加をお待ちしております。  
日時／平成24年 1月31日(火曜日)17:30～  
場所／3階 大会議室  
講師／メンタルヘルス科部長(緩和ケアチーム)  
林本 章 先生  
演題／がん患者および家族の心の痛み



## がん臨床研究事業が始まります！

『がん疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究』

**Special Project for Awareness and Relief of Cancer Symptoms (SPARCS)**

研究実施期間／平成24年2月15日から平成25年3月31日(予定)まで

当院ではこのほど、「厚生労働省科学研究(がん臨床研究)的場班」からの依頼を受け、全国で唯一、同班が実施する研究事業の協力施設となりました。

この研究は、がん診療連携拠点病院などの施設ごとに、がんの痛みがどれくらい適切に取れているのかを明らかにすることを目的に行われます。同時に、痛みが取れることと、患者さんの生活の質がどの程度良くなるのかを合わせて調査します。そのため対象となる患者さんには、痛みの状況のほか、アンケート調査などにご協力をお願いすることがあります。

詳しくは、下記の研究事務局までお問い合わせください。

<研究事務局>

がん診療センター企画室 電話017(726)8111 担当:齋藤 勝(内線9117)、山下 慈(内線9326)

	氏名	所属	分担内容	
研 究 者	的場 元弘	国立がんセンター中央病院 緩和医療科	がん疼痛治療の施設成績としての除痛率の検討	
	吉田 茂昭	青森県立中央病院	がん診療連携拠点病院における除痛率の評価	
	武林 亨	慶應義塾大学 医学部公衆衛生学	患者・市民にとってのがん疼痛治療情報の有用性	
	秋山 美紀	慶應義塾大学 総合政策学部		
	東 尚弘	東京大学大学院 医学系研究科 健康医療政策学公衆衛生学教室	除痛率の治療評価指標としての妥当性	
	吉本 鉄介	社会保険中京病院 緩和支援治療科	除痛率測定臨床試験プロトコルの妥当性	
	富安 志郎	長崎市立市民病院 緩和ケアチーム	除痛率と院内医療用麻薬消費量の関連性	
	宮下 光令	東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻緩和ケア看護学分野	除痛率とQOLの関連性	
	加藤 雅志	国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援研究部	がん診療連携拠点病院と緩和ケア提供体制	
	岩瀬 哲	東京大学医学部付属病院 緩和ケア診療部	データセンターの構築とデータマネジメント	
山口 拓洋	東北大学大学院 医学系研究科 医学統計学・医学情報管理学	データの解析		
院 内 研 究 担 当 者	責任者	齋藤 勝 緩和ケアチーム 緩和医療科医療顧問		
	実務担当者	山下 慈	緩和ケアチーム 緩和ケア認定看護師	
		吉田 慎太郎	緩和ケアチーム 薬剤師	
		田村 和久	経営企画室	
		協力者	林本 章	緩和ケアチーム 緩和医療科・メンタルヘルス科部長
	植村 康子	緩和ケアチーム 看護部次長		
	越後 雅子	緩和ケアチーム 外来班総括主幹看護師		
	廣瀬 公美	緩和ケアチーム 緩和ケア認定看護師		
	塩崎 佳友	緩和ケアチーム 薬剤師		
	須藤 宗	緩和ケアチーム 理学療法士		

